

日本語

NASデバイス ご使用上の注意

電源のオン/オフ方法

1. 電源ボタンを3秒間長押しすると電源がオフになります。HDDと電源ランプが白色で高速点滅します。
2. . Resetボタンを4秒間長押しすると管理者パスワードがリセットされます。リセット中は電源ランプが緑色でゆっくり点滅します。
3. . Resetボタンを20秒間長押しし、HDDと電源ランプが赤色で高速点滅すると初期化されます（HDDのデータには影響しません）。

内蔵UPSの使用について

1. 本製品には内蔵UPSが搭載されています。高温・高湿な環境を避け、適切な場所でご使用ください。
2. 工場出荷時にUPSには一部電力が残っています。バッテリー残量が15%未満の場合、外部電源なしでは起動できません。起動しようとする「ビッ、ビッ」と2回鳴ります。
3. UPS電源のみで動作している場合、インジケータは黄色に点灯し、「ビー」と1回鳴ります。UPS単独電源時は高負荷の操作をお控えください。

SSD使用上の注意

1. ストレージプールを作成する場合、SSDは本体でフォーマットされます。事前にデータをバックアップしてください。
2. SSDは特性上、大量の読み書き時に高温になることがあります。通風にご注意ください。
3. 各SSDには動作温度範囲があります。詳細は各メーカーにご確認の上、長時間の高温使用は避けてください。
4. 電源が入っている状態でHDD/SSDの抜き差しを行わないでください。データ損失やディスク損傷の原因となります。
5. 電源ボタンでの正常なシャットダウンを行ってください。電源コードの強制抜きは機器やディスクを損傷する恐れがあります。
6. 不適切な操作による機器やデータの損傷については、一切の責任を負いかねます。

電源使用について

1. 本製品には19V/6.32AのDCアダプターが標準付属しており、20VのPDアダプターにも対応しています。
2. 高負荷時のUPS遮断やシャットダウンを防ぐため、20V/5AのPDアダプターの使用を強く推奨します。
3. 非公式の電源アダプターやUPSを使用すると、故障や破損の原因となる可能性があります。

画面使用について

1. 本製品には5.99インチの2Kマルチタッチ静電容量方式ディスプレイを搭載しています。推奨動作温度：0～45℃（華氏32～113度）、湿度は50%未満です。
2. 出荷時に保護フィルムが貼付されています。清掃時は柔らかい布をご使用ください。水や腐食性の芳香族化合物は使用しないでください。
3. 直射日光、高温多湿の環境での使用・保管は避けてください。温度が範囲外になると表示色のずれが発生する場合があります。
4. 硬い物との接触、強い衝撃、高所からの落下を避けてください。画面破損の原因となります。

Thunderboltポートについて

1. 本製品にはThunderbolt 4ポートが2つ搭載されており、そのうち1つはDP 2.1プロトコルおよび20V/5Aの入力に対応しています。
2. Thunderbolt機能を使用するには、接続機器もThunderboltプロトコルに対応している必要があります。接続先によってはドライバのインストールが必要な場合があります。詳細は接続機器のメーカーにご確認ください。

その他の注意事項

- 初回起動時にシステムアップグレードが必要な場合があります。アップグレード中は電源ランプが高速点滅します。
- ネットワーク環境等によりアップグレードに時間がかかる場合があります。その間は、電源やLANケーブルを抜かないでください。システム破損や起動不能の原因となります。

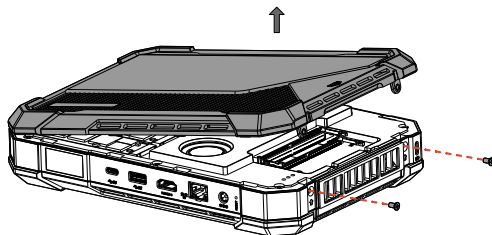
ハードディスクの取り付け

M.2 SSDの取り付け

NVMe 2280 SSDを最大6台まで取り付け可能です。

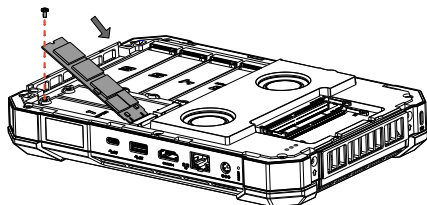
1. ステップ1

電源を切った状態で、図のようにネジを外し、カバーを斜め上に持ち上げます。



2. ステップ2

図の通りSSDを斜めに差し込み、ネジを締めてカバーを元に戻します。



QRコードをスキャンして、動画の使用ガイドを取得してください

取り付け時の注意事項

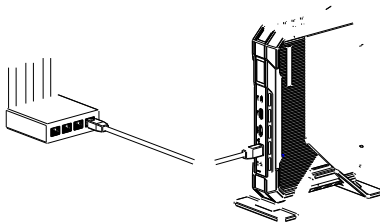
1. デバイスの電源が入った状態で取り付けを行わないでください。必ず電源を切り、プラグを抜き、電源インジケータが消灯していることを確認してください。
2. .対応/非対応SSD: NVMe 2280 SSDのみ対応可能。

デバイスの起動

デバイスの起動 - ネットワーク接続と電源オン

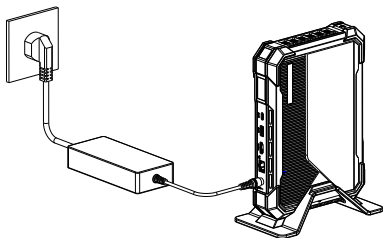
1. ネットワークに接続

同梱のLANケーブルを使用し、一端をデバイスのLANポートに、もう一端をルーターのLANポートに接続します



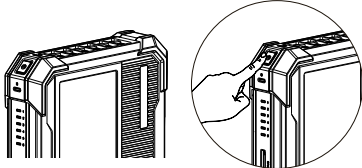
2. 電源に接続

同梱の電源アダプターを使用し、正しくデバイスと電源コンセントに接続します。



3. デバイスの電源を入れる

電源ボタンを3秒間長押しします。音が「ワー」と鳴り、電源ランプが点灯したら、起動中です。



デバイスの起動 - 登録

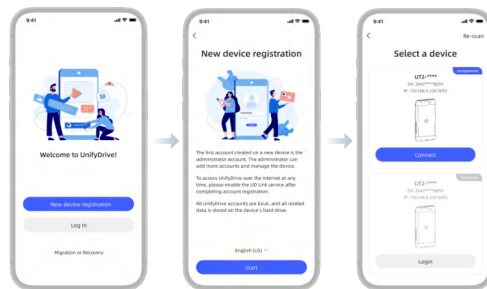
ステップ1：「UnityDrive」アプリのインストール

スマートフォンのアプリストアまたはAppleのApp Storeで「UnityDrive」を検索するか、下記のQRコードをスキャンしてダウンロードしてください。



ステップ2：デバイスの登録とアクティベーション

スマートフォンとUnityDriveデバイスが同じLANに接続されていることを確認し、アプリの指示に従ってデバイスを検出し、登録およびストレージパールの作成を完了してください。



ディスプレイ画面の機能

本製品は5.99インチの2Kマルチタッチ静電容量式ディスプレイを搭載しており、以下の機能を提供します：

デバイス接続

- ・ ネットワーク設定を行い、WiFiに接続可能
- ・ APモードのオン / オフ切替により他端末の接続を容易に
- ・ LANポート、Thunderboltポートなどの情報表示

ファイル操作

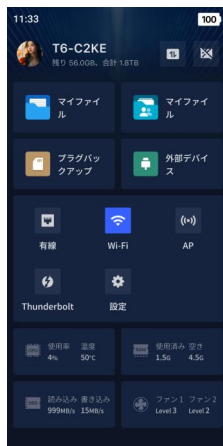
- ・ CFexpressカードおよびSDカードのホットプラグバックアップ対応
- ・ 写真閲覧、動画再生、ファイル操作が可能

デバイス状態監視

- ・ CPU、メモリ、ハードディスクのリアルタイム状態表示
- ・ ファンの動作状態表示

その他

- ・ 画面のパーソナライズ設定も多数搭載



注意:

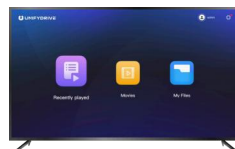
ディスプレイの機能はシステムアップグレードにより最適化・調整されることがあります。実際の機能はデバイスの提供内容をご確認ください。

HDMI / Type-C出力

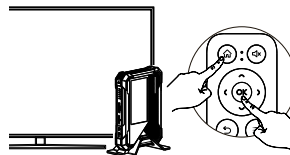
本製品はHDMIポートおよびType-Cデータポートを通じてデスクトップアプリの出力をサポートしています。

テレビなどの表示機器と接続して使用

AR/VRヘッドセットと併用可能



HDMIデスクトップアプリはリモコンが必要です



1. 表示機器に接続後、自動的にペアリング待機状態になります。
2. OKボタンとホームボタンを同時に長押ししてペアリングを開始してください。

注意:

ペアリング後にリモコンが動作しない場合、またはリモコンを交換した場合は、「システム設定」→「HDMIデスクトップ」からリセットして再ペアリングを行ってください。

Bluetooth状態表示

赤点灯：リモコンのペアリング待ち

赤ゆっくり点滅：ペアリング済みリモコン情報の取得中

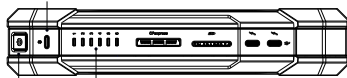
青点灯：リモコンのペアリング完了

青ゆっくり点滅：リモコンがスリープ中またはウェイク待ち

消灯：ペアリング機能が有効でない状態

インジケータ説明

Bluetoothインジケータ



電源インジケータ HDDインジケータ

名称	色	状態	説明
電源インジケータ	消灯	なし	電源オフ
	白色	点灯	電源オン
	白色	速い点滅	システムアップグレード中
	白色	遅い点滅	パスワードリセット中
	赤色	遅い点滅	ネットワーク未接続または故障
	赤色	速い点滅	その他の重大な故障
HDDインジケータ	消灯	なし	HDD未検出
	白色	点灯	正常状態
	白色	速い点滅	HDD読み書き中
	白色	遅い点滅	HDDスリープ中
	赤色	遅い点滅	フォーマット中
	赤色	点灯	処理待ち
	赤色	速い点滅	HDD故障
Bluetoothインジケータ	消灯	なし	ペアリング機能未有効
	赤色	点灯	リモコンペアリング待ち
	赤色	遅い点滅	ペアリング済みリモコン情報取得中
	青色	点灯	リモコンペアリング完了
UPSインジケータ	青色	遅い点滅	リモコンスリープ中またはウェイク待ち
	消灯	なし	UPS満充電
	緑色	遅い点滅	UPS充電中
	橙色	点灯	UPS給電中
	赤色	点灯	UPS異常
	赤色	遅い点滅	バッテリー残量不足

その他の注意事項

- 電源オフ時、HDDランプと電源ランプが同時に速く点滅します
- 管理者パスワードリセット時、電源ランプが緑色で速く点滅し、ピープ音が鳴ります
- 初期化時、HDDランプと電源ランプが同時に赤色で速く点滅します
- システム設定でインジケータをオフにした場合は、システム設定が優先されます

製品に含まれる有害物質の名称および含有量

部品名	RoHS有害物質含有量 (PPM / %)										RoHS 適用除外
	Cd	Pb	Hg	Cr6+	PBBs	PBDEs	DBP	BBP	DEHP	DIBP	
本体	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	/
アダプター	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	/
付属品	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	/

本表は、SJ/T 11364-2014（中国規格）の規定に基づいて作成されています。

○記号：該当する有害物質の含有量が、当該部品のすべての均質材料においてGB/T 26572で規定されている上限値を下回っていることを示します。

FCC STATEMENT

Warning: Changes or modifications to this unit not expressly approved by the part responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

For a Class B digital device or peripheral, the instructions furnished the user shall include the following or similar statement, placed in a prominent location in the text of the manual:

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radiofrequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 20 cm between the radiator and your body.

The device has been evaluated to meet general RF exposure requirement.



UNIFYDRIVE

www.unifydrive.com